

## 西部潤氏、よつ葉乳業株式会社が JICA 理事長賞を受賞

### ～JICA 研修事業等を通じて途上国の農業発展に貢献～

国際協力機構(JICA)では、毎年、国際協力事業を通じて開発途上国の人材育成や社会発展に多大な貢献をされた個人・団体に対し、その功績を讃え、表彰しています。

第17回を迎える今年度は、道東地域ゆかりの個人・団体として、元・十勝農業協同組合連合会参与の西部潤（にしぶ・じゅん）氏、よつ葉乳業株式会社が JICA 理事長賞を受賞することが決定いたしました。

広く地域の皆様にも受賞の栄誉について認知いただけますよう、取材をよろしくお願い申し上げます。受賞団体への取材等も調整可能です。

受賞者(敬称略)・団体名	受賞理由
西部 潤	西部氏は、約 30 年に亘り、研修講師や専門家として、酪農分野の技術協力プロジェクトや研修事業に貢献されました。高品質生乳の生産管理・品質評価・分析技術等の様々な講義や技術指導、コース運営に尽力し、日本の酪農の中心である十勝のノウハウを、世界各国の研修員に伝えてくださっています。研修員のニーズを丁寧にくみ取ったうえで、研修プログラムを組み立てる同氏の手法は、研修員から高く評価されています。これまでに延べ 500 名以上の研修員を受け入れてくださいました。また、キルギスでは、酪農分野の生産技術移転に留まらず、農業協同組合の組織やその活動の意義の普及に大きく貢献されました。なお、2021 年 3 月に北海道社会貢献賞(国際協力功労者)の表彰を受けています。
よつ葉乳業株式会社	よつ葉乳業株式会社は、30 年以上に亘り、酪農／地域開発分野における研修を支援し、同分野の人材育成に貢献されました。乳製品の加工や輸送システム、食品衛生管理システムや国際認証、乳製品のバリューチェーン事例、乳業メーカーの戦略事例など、幅広いテーマで研修員に指導されました。これまで、90 コース以上、88 か国 880 名余を受け入れてくださいました。弱い立場で貧しい生活を強いられていた地域の酪農家のために設立された同社の歴史や取り組みは、途上国の研修員にとって多くの学びをもたらしています。また、同社の JICA 研修員の受入の取り組みは、地域企業の知見・経験が国際協力に貢献している好事例として複数のメディアを通じて周知され、



独立行政法人国際協力機構  
JICA 北海道センター（帯広）  
2021年12月8日

地域の国際協力の理解促進にも寄与されています。
-------------------------

- \* 対面式(東京)及びオンライン形式での表彰式を、12月9日(木)16:00～17:00に開催します。
  - ・ご取材の参考として視聴をご希望の方には、後日録画映像の共有が可能です。ただし映像/写真を報道にご活用いただくことは難しい旨、予めご了承ください。
- \* JICA 理事長賞の全対象者については、以下の JICA ウェブサイト上に公開済です。  
([https://www.jica.go.jp/press/2021/20211206\\_21.html](https://www.jica.go.jp/press/2021/20211206_21.html))

<b>【本件に関する問い合わせ先】</b>
-----------------------

JICA 北海道センター（帯広） 道東業務課 近藤 TEL 0155-35-1210 e-mail : Kondo.Tadasu@jica.go.jp
--